

「ぼうさい探検隊マップコンクール」表彰式を実施

～日本ボーイスカウト奈良県連盟大和郡山第1団カブスカウト隊が
「デジタルマップ特別賞」を受賞～

日本損害保険協会近畿支部（委員長：中村 哲・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社常務執行役員）では、第20回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」において「デジタルマップ特別賞」を受賞した「日本ボーイスカウト奈良県連盟大和郡山第1団カブスカウト隊 いつも元気！1組」に対し、2月11日（日）に奈良県大和郡山市三の丸会館において表彰式を実施しました。

本コンクールは、子どもたちが楽しみながらまちを探検し、まちにある防災、防犯、交通安全に関係のある施設や設備を発見し、地域の人などにインタビューし分かったことをマップにまとめる実践的安全教育プログラムです。2023年度は全国の小学校、子ども会、児童館など658団体から8,904人が参加し、1,708作品（うち、当協会のタブレットを用いて作成したデジタルマップは769作品）が寄せられ、そのうち22作品が入賞（デジタルマップ特別賞含む）しました。

本作品は、交通安全をテーマとし、かつての城下町であることから道が狭く、車も人も通行しにくいという点に着目し、側溝が多い道路での転落や転倒による危険性等を丁寧に調べ、交番での質問も交えデジタルマップとして作成したものです。

表彰式では、保護者や団関係者20名ほどが見守る中、当協会近畿支部の田中事務局長から表彰状および副賞が贈呈されました。発表を聞かれた日本ボーイスカウト奈良県連盟大和郡山第1団の委員からは、「まちのことをよく調べたマップができました。これからも安全や危険なことについてみんなで考えて下さい」とのお言葉と、受賞者からは「車で通っている道を実際に歩いて、安全なところや危険なところがたくさんあることがわかり、タブレットを使って写真を撮ったりコメントを入れたりすることが楽しかった。受賞できてとてもうれしい」といった旨の感想が述べられました。

当支部では、今後も関係機関・団体等と連携し、各種防災教育の普及啓発に取り組んで参ります。



表彰状授与



記念撮影